

NEWS RELEASE

2019年7月30日
株式会社三菱総合研究所

2019年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より8月9日(金)に公表予定の2019年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2019年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.3%(年率+1.4%)と予測します。

2019年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.3%(年率+1.4%)と、3四半期連続でのプラス成長を予測する。外需はマイナス寄与に転じたものの、大型連休による押し上げ効果もあり、内需が堅調に拡大したとみられる。

消費は、同+0.4%と2四半期ぶりの増加を予測する。消費者マインドは悪化しているものの、雇用・所得環境の改善継続、大型連休による旅行支出などの増加、天候に恵まれたことが消費を下支えしたとみられる。設備投資は、輸出・生産の下振れにより企業の投資姿勢はやや慎重化しているものの、人手不足などを背景に自動化・省力化投資などに対するニーズの強さは継続しており、同+1.9%と高めの伸びを予測する。

輸出は、半導体関連需要の調整が下押し圧力となるなか、中国やASEANなどアジア向け輸出が低調な推移となり、同0%と横ばいを予測する。輸入は、大幅な減少となった前期からの反動もあり、同+2.0%の増加を予測する。結果として、外需の寄与度は▲0.3%ポイントと2四半期ぶりのマイナスを見込む。

表 2019年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季節調整済前期比(%)		2018年		2019年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		▲ 0.6	0.5	0.6	0.3
	季節調整済前期比年率	(▲2.6)	(1.8)	(2.2)	(1.4)
民間最終消費		▲ 0.3	0.3	▲ 0.1	0.4
民間住宅投資		0.8	1.4	0.6	0.5
民間企業設備投資		▲ 2.6	2.7	0.3	1.9
民間在庫	寄与度	0.2	0.1	0.1	0.0
政府最終消費		0.2	0.7	▲ 0.1	0.2
公的固定資本形成		▲ 2.0	▲ 1.5	1.2	1.2
財・サービス輸出		▲ 2.0	1.2	▲ 2.4	0.0
財・サービス輸入		▲ 1.0	3.0	▲ 4.6	2.0
内需	寄与度	▲ 0.5	0.8	0.1	0.7
民需	寄与度	▲ 0.4	0.7	0.1	0.6
公需	寄与度	▲ 0.1	0.1	0.0	0.1
外需	寄与度	▲ 0.2	▲ 0.3	0.4	▲ 0.3
名目GDP		▲ 0.6	0.5	0.8	0.3
	季節調整済前期比年率	(▲2.6)	(2.0)	(3.4)	(1.1)
GDPデフレーター	前年同期比	▲ 0.4	▲ 0.3	0.1	0.2
国内需要デフレーター	前年同期比	0.6	0.5	0.3	0.2

注：表中の実績値は、2019年1-3月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 田中康就

電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp